

はたらく女性の異業種交流会（松本会場） 開催結果概要

1 開催趣旨

県内企業等で働く女性が、職業生活における女性の活躍に関する現状や課題について学ぶとともに、自分らしい職業生活を実現する上での悩みや課題、提案等について意見交換

2 日 時

令和6年6月18日（火） 10:30~15:00

3 場 所

松本合同庁舎 講堂（松本市大字島立1020）

4 参加者

県内の企業や自治体に勤務する女性従業員・職員、女性管理職の方 61名

5 内 容 【ファシリテーター イーキュア（株）福盛 二郎 氏】

- ① ショートセミナー
- ② 交流会 以下のテーマに沿って参加者同士が意見交換
 - ・「働きやすさ」のある職場にするために
 - ・「働きがい」のある職場にするために
 - ・次世代から選ばれる組織になるために

6 参加者の主な感想・意見等

（1）参加した感想

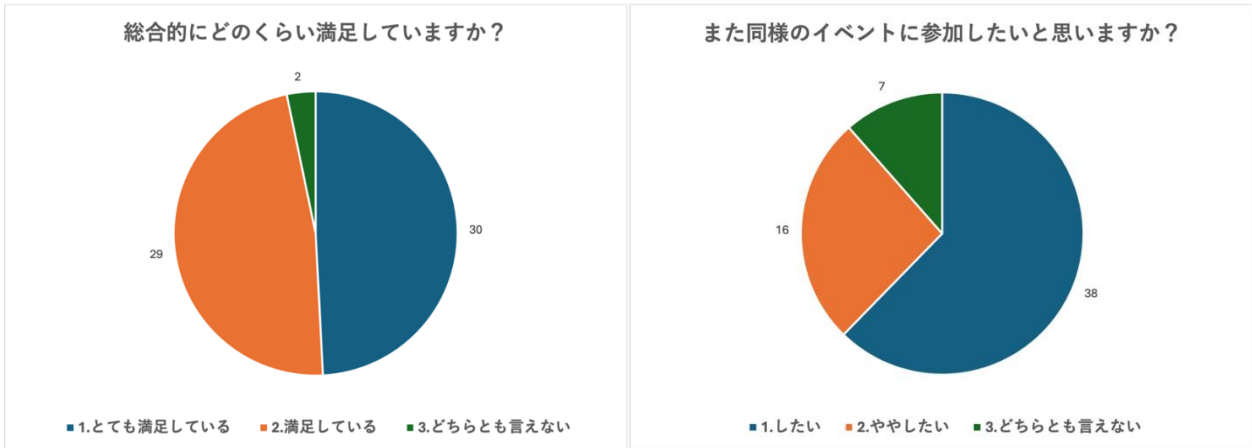
- ・業種や業界、働き方が違っても、女性ならではの経験や意見など共感できるものが多く、仲間が増えたような感じがして、楽しかった。
- ・女性同士で話せる機会がなかなか現場にないので、そういうことをもっとやっていきたい。
- ・上の人が決断して下にやらせるよりも、皆で考えて案を出した方が相乗効果で良くなっていくのでは。
- ・何が期待されているか明確だと、働きがい・やりがいがある。

（2）「女性が、長野県で働き、暮らし続けたい」と思ってもらうために必要だと考えること

- ・現在の社会は、家事・育児・介護を担わない健康な男性が全力で働くことを前提としている部分があり、職場内に様々な事情を抱えた人がいて当たり前になるよう、環境や意識の変化が必要と感じた。
- ・田舎だから、女性だから活躍できない、好きなことができないと言う固定概念や思い込みをなくす対策が必要。目標となる先輩を発信していく。
- ・自分らしく楽しく働く女性＝ロールモデルの輩出、周知（広報）が必要だと考える。そうするために、まずは働く環境の整備が何よりも大切。
- ・企業の経営層などの意識改革。ダイバーシティが待ったなしの課題であること、選ばれる企業となるためには、自ら変わらなければいけないことを、社内に浸透させる必要がある。
- ・女性だけでなく男性も含めた働き方改革が必要だと思う。長時間労働の改善、育休取得率向上等は管理職を含めた意識改革が必要。
- ・女性も男性も輝ける組織、会社が多いことを県としてPRすること。女性が働きやすい会社認定をもっとアピールする。
- ・最低賃金の底上げと男女の賃金格差を減らす。子供を安心して育てられる環境、子育て支援の充実と田舎特有の閉鎖的なイメージの払拭その地域に魅力（ブランド力）があれば移住して暮らしてくれる人も増えるのではないかと。未婚、子供を持ってない人も、どんな立場の人も公正に働ける仕組み作りが必要。

- ・子育て支援にものすごく特徴的な施策があることはUターンなどの動機になりやすい。
- ・魅力的な子育て環境と、レベルの高い教育を提供すること。地方にしながら、都会に劣らない教育を公立学校で受けられること。
- ・若者にとっては、車がないと生活できないことが負担なので、住宅や車の支援があってもいい。土地が安いだけでと選ばれない。(移動手段が無いため)

(3) 参加者アンケート



7 当日の様子

ショートセミナー



ゴコー電工（株）相場社長へのインタビュー



女性活躍が進むと”こうなる”を記載したふせん



ワークショップ

